

12 月 7 日に特別助成金を活用してボランティア研修会および親睦会を開きました。ボランティア活動の現状とこれからの
ついて話し合いました。
内容のまとめを報告いたします。

* 厨房の作業は楽しくしているが身体がきつくなってきた

- A 車に乗れなくなった
- B 大量の買い物が困難になってきた
- C 立ち仕事だから作業中も疲れる
- D 腰が痛くて大きなヤカンが持てない
- E 11 時半の完成はきつい 忙しい 焦るので疲れる

改善策

- AB について 困った時はフロア一班に買い物サポートをしてもら
えることになりました。
- CD について 作業の途中で休憩を取るのも一つの方法
- E について そのためにも完成時間を今の 11 時半に拘らず 11 時
45 分頃までを目安として仕上げる。忙しい時は
フロア一班にも厨房に入って協力してもらえる事
になりました

* 厨房班は食事時間をゆっくりして疲れを取りたいし会話も楽しみたい

- 改善策 食事時間は大体の目安として 45 分程度としたらどうか
フロア一班もゆっくりしましょう

* 身体や気力の衰えは増すばかりなので一つの方法案として

ボランティアを自治会から募集してもらい交代要員を増やす
年間スケジュールの見直し
厨房作業を減らし定期的に外注食にする など

- * 配膳がスムーズに行かないので一人分の配膳スペースを広くしたらどうか
今まで色々試して来たがその方法もしてみる
一テーブルの人数を減らし一人分を見やすくする
一テーブルを何人にしたら良いかは検討する

- * 主食の量を各班で統一したらどうか 例えば大は160gとか

- * 地域住民の事情に合わせてボランティアハウスの形態も変更したらどうか 例えば車の送迎など（別の介護的組織になる）

これはボランティアハウス本来の目的から外れるので無理ですが
頑張っって歩くことが健康維持になるのではないのでしょうか

- * 厨房班によっては残高の多い班があるようですが年度末には繰越金を
15000円程度にしてください

- * フロア一班は実際のところ手が空いている時間があるので厨房が大変な時は手伝ってもいいと言われました

以上このような意見交換が出来ました

大変よい研修会でした

曾布川美治